

伶倫楽遊

Reigakusha gagaku concert



承和の御時

「雅楽 日本化の始まり」

雅楽は中国や朝鮮半島、遠くはベトナムやインドの地の楽舞が日本に伝えられ、成立したことが知られています。伝えられた外来楽は、ある時を頂点に、次第に日本の芸能へと歩みを進めることになります。その転換の時代が仁明天皇の御代、「承和の御時」(承和年間=834~848)です。この時代、遣唐使により多くの曲や舞が日本にもたらされた一方、日本人によって多くの雅楽曲が新しく作られた時代でもありました。雅楽にとって、日本化へ歩み始める特別な時代「承和の御時」、遠藤徹氏(学芸大学教授)の協力を頂き、当時の栄華の再興を試みます。どうぞご期待下さい。

年中行事絵巻(田中家蔵、中央公論新社刊「日本絵巻大成」より)

𪛗越調音取、賀殿急(現行の管絃。承和の遣唐使、藤原貞敏が伝えたと言われる)

𪛗越調 搔合、小調子明珠(「類聚治要」より復曲、箏独奏。承和年間に来日した孫實が伝えた曲)

双調調子、柳花苑(内教坊の様式による推定復元。承和の御時に太食調から移調。方響、笏拍子入り)

黄鐘調 皇帝三台(「博雅笛譜」より、雅楽寮の編成による推定復元。空篳、排簫、方響入り)

黄鐘調 海青楽(現行曲。笛と箏で。承和の御時に船楽で笛師と箏師により即興的に作られた)

舞楽 承和楽(現行の舞楽。承和年間の黄菊の宴に勅によって作られた)

企画監修・楽曲復元 遠藤徹
(東京学芸大学教授)
企画主催 伶楽舎
音楽監督 芝祐靖

2016年5月12日(木)

午後7時開演(開場6時半)
四谷区民ホール

チケット 前売・予約3,000円、当日3,500円(全席自由席)
枚数、氏名、連絡先(電話・ファクス番号)を明記の上、以下の方法でお申し込みください。
後ほど御連絡いたしますので御確認ください。
FAX: 03-5269-2011(伶楽舎)*ファクスのみの取り扱い(5/11、17:00まで)
Eメール: ticket0512@reigakusha.com (5/10、17:00まで)

東京コンサートのHPから予約してセブンイレブンでチケットを受け取ることもできます。
WEBチケット: <http://www.tokyo-concerts.co.jp> より申し込み
電話予約: 4月15日まで TEL 03-3226-9755 (10:00~18:00/土日祝休み)
4月18日以降 TEL 03-3200-9755 (10:00~18:00/土日祝休み)

チケット発売開始: 3月7日

一般社団法人 伶楽舎 〒160-0012 新宿区南元町19-2 千日谷会堂内 Tel&Fax: 03-5269-2011 <http://www.reigakusha.com>

伶楽舎 1985年に発足した雅楽演奏団体。音楽監督・芝祐靖。現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲や正倉院復元楽器、現代作品の演奏等、幅広い活動を展開。国内各地の他、米国、欧州諸都市で公演。2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。

石川高、岩亀裕子、伊崎善之、北村茉莉子、小林勝幸、五月女愛、笹本武志、鈴木絵理、田口和美、田島和枝、田中康真、谷内信一、田淵勝彦、角田真美、東野珠実、中村かほる、中村華子、中村仁美、野田美香、日比和子、平井裕子、福西賢、三浦礼美、宮田まゆみ、宮内直子、八百谷啓、八木千咲、荒川明英、酒井麻椰、村岡健一郎、本橋文

